

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第2委員会 (令和5年度第4回会議)
日時	令和5年10月26日 12:58~16:35
審査対象	下草野まちづくりセンター

審査結果概要

- (i) 施設所管課（市民活躍課）からの募集経過説明
- (ii) 申請団体（下草野地区地域づくり協議会）による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計
1,000点満点中：766点（100点満点中：76.6点）
- (v) 審査
指定管理者候補として適当と判断する者
所在地 長浜市北ノ郷町105番地
名称 下草野地区地域づくり協議会
代表者 会長 丸山 久徳
選定にあたっての条件 特になし

質疑応答

- 委員 : 移動支援など地域に寄り添った活動を展開されているが、住民ニーズはどのように感じているか。
- 申請者 : 買い物支援については、現状は利用者が固定化されつつある。女性の割合が多く、近所で誰かが行くとなるとこぞって参加される。今後はもっと広がっていくと思う。通院支援は、運転免許返納が増えてきたことに伴い始めた事業。あらかじめ曜日を決めて、診療所から連絡があれば対応している。現在の利用は1人だが、潜在的なニーズはある。
- 委員 : 移動支援は職員が対応しているのか。
- 申請者 : お互いさま会の会員にお願いしている。ポイント制というのを導入しており、1回500ポイント付与し、ポイントは年末に商品券でお返ししている。
- 委員 : お互いさま会のお礼は、収支計画のどの部分か。
- 申請者 : 指定管理の収支には含んでいない。一括交付金という市の交付金等で賄っている。
- 委員 : 職員体制は所長1人とパート2人で18時まで勤務になっているが、勤務時間は適正か。
- 申請者 : 貸館利用は少ないので常に2人いる必要はなく、フレックスタイムで対応してい

る。パートは基本的に1日4時間勤務で、常勤もフレックスタイムで1か月168時間勤務として、漏れのないシフト計画を立てている。

委員 : ラインの公式アカウントを開設しているとのことだが、登録者の状況はどうか。

申請者 : ほたる祭りや秋祭りの開催時に登録を促しており、徐々に増えているが、有料化されているので、今後活用を続けるか費用対効果を分析して検討する。

委員 : ワゴン車のリース料が令和10年度に約30万円減り、その分が予算上は消耗品費10万円と委託料20万円に振り分けられているが、有効な活用方法を検討してほしい。

申請者 : 建物が老朽化しているので、その修繕費等に充てていきたい。

審査

委員 : 貸館よりも、地域づくり協議会としての活動に力を入れている印象があり、今後も継続しようとしてされているのがよいと思った。また、職員の中に平成生まれの方がいたので、今後の展開に期待が持てると感じた。

委員 : 全体的によかった。ただ、所長1人とパート2人の勤務時間がフレックスなので、しっかりと職員間の連携ができているか、まちづくりセンターに誰もいない時間ができないかを懸念する。

委員 : ワゴン車の件について、自主事業として買い物支援や通院支援が行われているが、施設の利用率向上につながっているか疑問に思うところがある。地域づくり協議会の活動としてはとても高く評価できるが、施設の維持管理費用をワゴン車に充てるのが適切か、市としても確認してほしい。

委員 : 移動支援などを通じてまちづくりセンター利用者の増加につながるかを確認した。本来、指定管理者制度は施設の管理運営を目的としており、その中でプラスαとして様々なサービスや支援が提供されるところが評価されるべきか思うので、今後もモニタリングなどを通して検証してほしい。

委員 : まちづくりセンターの管理運営というより、地域づくり協議会の活動の一部という印象が強かった。まちづくりセンターの管理運営にかかる経費と協議会の活動経費との関係について、所管課と指定管理者とで考え方をしっかりと整理していただきたい。

委員長 : 下草野地区地域づくり協議会を下草野まちづくりセンターの指定管理者候補としてよろしいか。

全員 : 異議なし。